環 境 経 営 レ ポ ー ト

対象期間　令和5年10月～令和6年9月 （令和6年度）

目　次

1．組織の概要 …… 1

2．EA21推進体制 …… 2

3．環境経営方針 …… 3

4．環境経営目標 …… 4

5．環境経営計画 …… 5

6．環境経営目標の実績 …… 6

7．環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 …… 7

8．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 …… 8

9．代表者による全体評価と見直し･指示の結果 …… 9

発行日：令和 6 年 10 月 24 日

株式会社　オー･エム･ケイ

1　組織の概要

１．事業所名及び代表者名

株式会社 オー･エム･ケイ
代表取締役 吉田 忠実

２．所在地

本社
大分県大分市青崎1丁目10番5号
TEL 097－522－2244
FAX 097－522－2248

３．環境管理責任者氏名及び連絡先

代表取締役 吉田 忠実
TEL 097－522－2244

４．事業内容

一般貨物自動車運送業
○許可番号　九運自第1855号

産業廃棄物収集運搬業
大分県
○許可番号　04402004203
○許可年月日　令和 5 年 7 月 5 日
○有効期限　令和 10 年 7 月 4 日
○廃棄物の種類（12種類）
燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず
ゴムくず、金属くず、ガラスくず等、鉱さい、がれき類、ばいじん

大分市
○許可番号　08810004203
○許可年月日　令和 5 年 7 月 5 日
○有効期限　令和 10 年 7 月 4 日
○廃棄物の種類（12種類）
燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず
ゴムくず、金属くず、ガラスくず等、鉱さい、がれき類、ばいじん
○積替保管
所在地　大分市青崎一丁目247番
面　積　28．4m^2
高　さ　0．9m
容　量　8．5m^3
種　類　がれき類

建設業
○許可番号　大分県知事 許可（般－3） 第10492号
○許可年月日　令和 3 年 6 月 21 日
○有効期限　令和 8 年 6 月 20 日
○建設業の種類
土木工事業

５．事業規模

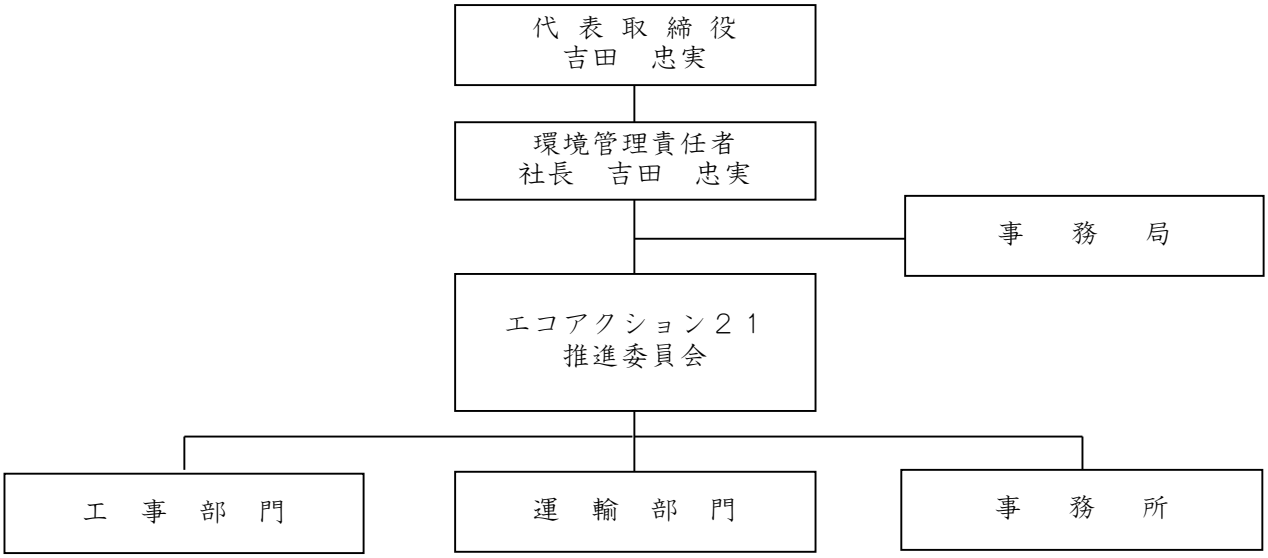
設立	昭和53年
資本金	1000万円
売上高	20，199万円
従業員数	9人
事務所延床面積	98m^2
車両台数	11tダンプ 7台 4tダンプ1台
廃棄物収集運搬量	3，293．64t
事業年度	10月1日 ～ 9月30日

６．対象範囲

全事業･全組織

２　ＥＡ２１推進体制

組織図



役割と責任及び権限

	役割　権限　責任
代表者	・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に関する統括責任者必要な経営資源（人・物・資金）を準備する ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針を定める ・環境経営目標及び環境活動計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション２１推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・環境経営目標、環境経営活動計画、実施体制の確認 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処置の承認 ・環境経営レポートの確認
事務局	・環境管理責任者の補佐、エコアクション２１推進委員会の事務局 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境経営活動に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境経営レポートの作成
エコアクション２１推進委員会	・環境経営目標、環境経営活動計画の伝達 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・環境経営活動に関する意見交換
部門長	・自部門における環境経営活動の実施 ・自部門における環境経営活動の実施、目標達成状況を委員会に報告する ・自部門に必要な手順書などの作成、管理 ・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する
全従業員	・環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する

３　環境経営方針

環　境　経　営　方　針

〈基本理念〉

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が人類共通の重要課題と考えています。

省エネ運転等事業活動における環境負荷の低減や、安全運行による社会への貢献を目指し、社員一丸となって自主的・積極的に環境への取り組みを進めてまいります。

〈行動指針〉

１．具体的に次のことに取り組みます。

① 電力消費による二酸化炭素排出量の削減
② 車両運行に伴う燃料消費による二酸化炭素排出量の削減
③ 廃棄物の３Ｒ（減量・再使用・再資源化）の推進
④ 水資源の節減
⑤ 事務所周辺の清掃活動の推進
⑥ 若手の人材の確保

これらについて環境経営目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

２．環境関連法規則や当社が約束したことを遵守します。

３．この環境経営方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

制定日　２０１５　年　７　月　１　日
改定日　２０２１　年　２　月　１　日

株式会社　オー・エム・ケイ
代表取締役　吉田　忠実

４　環境経営目標

環境方針番号	目標課題	基準年度 R5年度実績	R6年度 目標	R7年度 目標	R8年度 目標
1	電力消費による 二酸化炭素排出量の削減	6,499 kg-CO2	基準年度比 -1% (6,434)	基準年度比 -2% (6,369)	基準年度比 -3% (6,304)
1-1	電力使用量の削減	16,009 kWh	基準年度比 -1% (15,848)	基準年度比 -2% (15,688)	基準年度比 -3% (15,528)
2	車両運行に伴う燃料消費による 二酸化炭素排出量の削減	336,773 kg-CO2	基準年度比 -1% (333,405)	基準年度比 -2% (330,037)	基準年度比 -3% (326,669)
2-1	軽油使用量の削減	128,329 L	基準年度比 -1% (127,045)	基準年度比 -2% (125,762)	基準年度比 -3% (124,479)
2-2	省エネ運転による燃費の向上	2.79 km/L	基準年度比 1% (2.81)	基準年度比 2% (2.84)	基準年度比 3% (2.87)
3 3-1	廃棄物の３Ｒ（減量・再使用・再資源化）の推進 一般廃棄物の削減	0.885 t	基準年度比 -1% (0.876)	基準年度比 -2% (0.867)	基準年度比 -3% (0.858)
3-2	建設廃棄物の リサイクル率100%維持	100.0%	100%	100%	100%
4	水資源の節減	257.50 m3	基準年度比 -1% (254.90)	基準年度比 -2% (252.35)	基準年度比 -3% (249.77)
5	事務所周辺の清掃活動の推進	4 回	4 回	4 回	4 回
6	若手の人材の確保	・大型免許の取得には高額な金額がかかる為、会社から補助金を出せるような制度を検討中。 ・求人募集広告を掲載。			
二酸化炭素排出量　合計		343,272 kg-CO2	(339,839) kg-CO2	(336,406) kg-CO2	(332,973) kg-CO2

※電力の排出係数については、２０２３年度イデックスでんき 調整後の排出係数0.406を使用。

※当社の年度は決算月の年を採用している。：R5年度は令和4年10月～令和5年9月である。

５　環境経営計画

環境方針番号	目標課題	具体的な行動（活動）	推進担当者
1	電力消費による 二酸化炭素排出量の削減	1　室内温度の最適化	中津留
		2　不用時の電源OFF（空調、PC、照明）	
		3　エアコンフィルターの清掃（月１回）6～9月 11～2月	
2	車両運行に伴う燃料消費による 二酸化炭素排出量の削減	1　アイドリングストップ	吉田
		2　エコドライブの推進	
		3　配送ルートの効率化	
		4　乗車前の日常点検実施（タイヤ空気圧等）	
		5　車両整備の徹底（３ヶ月点検）	
		6　燃費の計算	中津留
		7　重機のアイドリングストップ	吉田
3	廃棄物の３Ｒ （減量・再使用・再資源化）の推進 ３－１　一般廃棄物の削減 ３－２　建設廃棄物の削減	1　コピーでの裏紙使用	加藤（あ）
		2　ペーパーレス化	
		3　分別の徹底	
4	水資源の節減	1　洗車時の節水	前田
		2　洗濯時の節水	
		3　出しっ放し厳禁	
5	事務所周辺の清掃活動の推進	1　会社周辺の清掃活動	吉田
6	若手の人材の確保	1　補助金制度の確立	吉田
		2　求人募集広告の掲載	加藤（あ）

６　環境経営目標の実績（Ｒ６年度）

環境方針番号	目標課題	目標	実績	目標達成率	評価
1	電力消費による二酸化炭素排出量の削減	6,434 kg-CO2	6,113 kg-CO2	105.3%	目標達成できた
1-1	電力使用量の削減	15,848 kWh	15,057 kWh	105.3%	目標達成できた
2	車両運行に伴う燃料消費による二酸化炭素排出量の削減	333,405 kg-CO2	379,710 kg-CO2	87.8%	下記に同じ
2-1	軽油使用量の削減	127,045 L	144,688 L	87.8%	目標未達成 市外等、遠方の現場や重機の使用が多かった
2-2	省エネ運転による燃費の向上	2.81 km/L	2.86 km/L	101.8%	目標達成できた
3 3-1	廃棄物の３Ｒ（減量・再使用・再資源化）の推進 一般廃棄物の削減	0.876 t	0.739 t	118.5%	目標達成できた
3-2	建設廃棄物のリサイクル率100%維持	100%	100.0%	100.0%	目標達成できた
4	水資源の節減	254.90 m3	261.00 m3	97.7%	目標未達成 天候が悪く洗車の回数が増えた
5	事務所周辺の清掃活動の推進	4 回	4 回	100.0%	目標達成できた
6	若手の人材の確保	補助金制度 求人広告	検討 実施		求人広告等を活用中
二酸化炭素排出量　合計		339,839 kg-CO2	385,823 kg-CO2	88.08%	軽油使用量の削減が大きく未達成の為、全体のCO2削減量も目標未達成

※灯油・ＬＰガスを含む当社の二酸化炭素総排出量：386.731kg-CO2

7　環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境経営計画の取組	結果	評価	次年度の取組内容
1　電力消費による二酸化炭素排出量の削減		目標は達成できたが、不要時の照明の消し忘れが時折みかけられる。	環境活動は継続して推進する。 ・室内温度の最適化 ・不用時の電源OFF(空調、PC、照明) ・エアコンフィルターの清掃(月1回)
・室内温度の最適化	○		
・不用時の電源OFF(空調、PC、照明)	△		
・エアコンフィルターの清掃(月1回)	△		
2　車両運行に伴う燃料消費による二酸化炭素排出量の削減		遠方の現場や重機の使用が多かったこともあり目標未達成。 しかし燃費向上の目標は達成できているので、エコドライブの推進・重機のアイドリングストップの意識づけを引き続きやっていきたい。	環境活動は継続して推進する。 ・アイドリングストップ ・エコドライブの推進 ・配送ルートの効率化 ・乗車前の日常点検実施(タイヤ空気圧等) ・車両整備の徹底(3ヶ月点検) ・重機のアイドリングストップ
・アイドリングストップ	△		
・エコドライブの推進	○		
・配送ルートの効率化	○		
・乗車前の日常点検実施(タイヤ空気圧等)	○		
・車両整備の徹底(3ヶ月点検)	○		
・重機のアイドリングストップ	△		
3　廃棄物の3R(減量・再使用・再資源化)の推進		裏紙の使用はできた。 不要な受信FAXはプリントアウトしない、PCからFAX送信等、ペーパーレス化も更に推進していきたい。	環境活動は継続して推進する。 ・コピーでの裏紙使用 ・ペーパーレス化 ・分別の徹底
・コピーでの裏紙使用	○		
・ペーパーレス化	○		
・分別の徹底	○		
4　水資源の節減		天気の移り変わりが激しく洗車の回数が増えた。	環境活動は継続して推進する。 ・洗車時の節水 ・洗濯時の節水 ・出しっ放し厳禁
・洗車時の節水	○		
・洗濯時の節水	○		
・出しっ放し厳禁	○		
5　事務所周辺の清掃活動の推進		目標達成できた。	環境活動は継続して推進する。 ・会社周辺の清掃活動
・会社周辺の清掃活動	○		
6　若手の人材の確保		求人広告等を活用	環境活動は継続して推進する。 ・補助金制度 ・求人広告の継続
・補助金制度			
・求人広告	○		

８　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反・訴訟等の有無

評価者：吉田　忠実

令和6年10月24日

	関係法令	チェック項目	チェック方法	遵守評価
1	建設リサイクル法	建設工事に係る再資源化等に関する届出書	内容確認	○
2	廃棄物処理法（排出業者として）	１）産業廃棄物マニフェスト	マニフェスト管理状況確認	○
		２）廃棄物委託契約書	契約書の内容確認	○
		３）保管場所表示、保管基準遵守	現場確認	○
		４）管理票の交付状況定期報告	年間報告提出の確認	○
		５）収集運搬車への表示およびマニフェスト携帯	現場確認	○
3	廃棄物処理法（収集運搬業者として）	１）廃棄物委託契約書	契約内容確認	○
		２）収集運搬業許可証期限	有効期限内確認	○
		３）収集運搬車の表示	表示板取付確認	○
		４）許可証の携帯	許可証携帯確認	○
4	消防法	消防設備定期点検（地下タンク）	給油設備安全点検記録帳に基づく点検・記録	○
5	家電リサイクル法	テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機の廃棄時	リサイクル券購入	○（発生なし）
6	資源有効利用促進法	パソコン廃棄時	リサイクル業者への処理依頼	○（発生なし）
7	自動車リサイクル法	自動車廃棄時	リサイクル業者への処理依頼	○（発生なし）
8	フロン排出抑制法（業務用エアコン）	１）３ケ月に１回	簡易点検の実施	○
		２）廃棄時	リサイクル業者への処理依頼	○（発生なし）
9	浄化槽法	点検及び清掃	業者による定期点検	○

※遵守評価の結果、環境法規の違反はありません。又、関連当局からの指導や訴訟もありません。

９　代表者による全体評価と見直し・指示の結果

実施日：　令和6年10月24日

環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント
１　環境関連法規等の遵守状況確認結果	特に問題はなかった	問題なし
２　環境経営目標の達成状況	軽油使用量の削減、水資源の節減及び全体のCO2排出量は目標未達成	継続する
３　環境経営計画の実施状況	特に問題はなかった	継続する
４　問題点の是正、予防の状況	特に問題はなかった	問題なし
５　外部からの苦情の有無及び対応結果	苦情は１件もなかった	問題なし
６　環境上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	訓練を実施した（運搬中の廃棄物の飛散）	問題なし
７　その他	特に報告事項はなかった	問題なし

代表者の指示と見直しの必要性判断		
	１　環境経営方針	継続する
	２　環境経営目標	継続する
	３　環境経営計画	継続する
	４　実施体制	継続する
	その他の指示	社内コミュニケーションの機会を増やし、環境教育による周知徹底と今後の成果に期待する

全体を通して

暑い日が続き天気の移り変わりが激しく、洗車の回数が増えたことで水資源の節減が目標未達に終わった。
車両は会社の看板でもあるので、洗車回数を減らすということなく目標達成できるよう今後の課題として従業員にも意識づけを行っていきたい。
若手の人材確保に関しても求人募集をしているが、若手の運転手の応募がなく非常に厳しい状態である。